

# 「公平負担のための受信料体系の現状と課題に関する研究会」

## 第14回会合 議事要旨

### 1 日時

平成20年7月2日(水) 17:30~18:30

### 2 場所

総務省第1特別会議室(中央合同庁舎2号館8階)

### 3 出席者

#### (1) 研究会構成員

舟田座長、中村座長代理、石岡構成員、伊東構成員、音構成員、高橋構成員、鳥居構成員、新美構成員、飛田構成員、山内構成員、山下構成員、  
(11名)

#### (2) 総務省側

小笠原情報通信政策局長、河内審議官、今林総務課長、吉田放送政策課長、武田衛星放送課長、井幡放送政策課課長補佐

### 4 議事

#### (1) 開会

#### (2) 議題

- ・意見募集で提出された意見及びそれに対する研究会の考え方(案)について
- ・最終報告書(案)について

#### (3) 閉会

### 5 議事の概要

(1) 事務局より、資料1「意見募集で提出された意見及びそれに対する研究会の考え方(案)」、資料2「「公平負担のための受信料体系の現状と課題に関する研究会」最終報告書(案)」に沿って説明、了承された。

#### (2) その他

(本文中の記号の意味は以下のとおり。

○…構成員の発言、▲…事務局の発言)

最終報告書の取りまとめに当たって、各委員から所感が述べられた。主

な内容は以下の通り。

- 今回の最終報告の結論は、控えめではあるが、来るデジタル化に備え、1つの方向性が慎重な形ではあるが、ある程度見えたのではないか。
- スクランブル化に関する議論を行ったことは、この研究会の1つの成果ではないか。しかし、受信料制度とNHKの存在は、表裏一体のところもあり、スクランブル化の導入にはさらなる検討が必要ではないか。また、対価料金という形で提供される予定のアーカイブス・オン・デマンドに加え、有料放送が主体となりそうな携帯端末向けマルチメディア放送等、新たなサービスへのNHKの対応について、注目していきたい。
- スクランブル化の議論を通して、衛星放送の在り方全体の中でのNHKのBS放送の位置付けが、これまで以上にクリアになったという点がこの研究会の成果ではないか。
- NHKの問題は、衛星放送や音声放送の分野だけでなく、地上波等、他の分野を含んだ全体の中で再度、見直さなければなかなか難しいのではないか。  
また、NHKには、この研究会で議論されたことを踏まえ、さらにNHK内部でも十分な検討を行い、国民の期待に応えていけるような体制を再構築していただきたい。
- 電波のコントロールが可能になってきているという点からも、放送と通信で、技術的な面での違いはなくなってきているのではないか。しかしながら、報道の自由等との絡みで、NHK、その他放送機関が通信と同様の扱いでいいのか、改めて放送というものを再評価すべき時期にきているのではないか。
- スクランブル化は、できるだけ避けていただきたい。また、しっかりとした受信料体系を確立するため、子会社等のスリム化等、無駄を見直していくことも大切ではないか。
- NHKの放送に係る料金体系には、公共財に対するプライシングではなく、費用負担という側面があるのではないか。つまり、マーケット以外の様々な外部効果を含んだ費用負担者が公共財である放送を支えてい

るといことである。

また、公共料金論は効率性と公平性の相克にあり、受信料体系についても同様。効率性を保ちつつ、公共的な放送を公平性の観点からどのように整理するか検討が必要ではないか。

- 受信料の公平性を考える基礎となる数字について、初めから算出できたことには、大きな意義があったのではないか。また、衛星付加受信料について、現状維持に加え、一本化、スクランブル化という考え方があることを提示できたことには大きな意義があったのではないか。
- この研究会では、放送と通信の問題について幅広い観点で論じられており、本報告書をもとに新しい議論がなされることが重要。事務局として、今回の議論を今後どのような形で行っていく予定か。
- ▲ 受信料体系の在り方について、具体的なスケジュールをもって直ちに何かを行う予定があるわけではないが、今回おまとめいただいたものを十分に生かしつつ、今後の放送政策に生かしていきたいと考えている。
- 受信料の負担は、供給者側から見て、フリーライダーをなくすということに焦点があったが、技術の進歩とともに消費者が視聴方法を能動的に選択できるようになり、需要者側の立場で、フリーライダーと同時にフォース・ド・ライダーをつくり出すということもあり得る。このような点も踏まえ、NHKには番組のさらなる高度化や費用の側面も含め、消費者の期待に応えるような努力をお願いしたい。
- スクランブル化、対価料金を導入する場合には、パブコメの意見にもあったように、NHKが選択メディアとなって料金を徴収することに関する議論がさらに必要である。また、受信料の負担水準については、これまであまり議論されてこなかった部分であり、今後議論が必要ではないか。対価料金制度を導入する場合の移行の仕方についても議論が必要ではないか。

以上